

飼養保管施設・実験室について

「『飼養保管施設／実験室』承認一覧」で有効期限をご確認のうえ、承認番号と名称をご記入ください。

承認された場所以外での動物の飼養・実験はできませんのでご注意ください。

苦痛のカテゴリー・人道的エンドポイントについて

「Scientists Center for Animal Welfare (SCAW)の動物実験処置の苦痛分類の解説（要旨）と対応表」を参考にして、カテゴリーをご選択ください。必要に応じて、人道的エンドポイントについてもご確認ください。

使用に注意を要する麻酔薬について

使用するにあたり、注意の必要な麻酔薬がありますので、下記についてご確認ください。
なお、麻酔及び安楽死のための薬剤として、実験動物へ医薬品以外を用いることは倫理的に認められません。また、使用にあたり許可を必要とする麻酔薬もありますのでご注意ください。

○エーテル（ジエチルエーテル）

[麻酔] 実験動物すべて：×

[安楽死] 実験動物すべて：×

引火性及び爆発性があり労働安全衛生上極めて危険であること、また気道刺激性が強く、それにとまなう気道分泌物過剰及び喉頭痙攣などの副作用があるため、麻酔及び安楽死のための薬剤としてエーテルを使用することはできません。

※麻酔薬として医薬品以外を用いることは倫理的に認められません。

○ペントバルビタール [向]：向精神薬試験研究施設の届出が必要

(商品名：ソムノペンチル (製造中止)、ネンブタール (製造中止) など)

※注射液としてのペントバルビタールは、ソムノペンチルの流通在庫のみとなります。手持ちが無くなる前に、別の方法をご検討ください。

[麻酔] 実験動物すべて (単独使用)：×

ペントバルビタールは鎮痛作用に乏しく、重度の心血管系と呼吸器系の抑制が生じる。また、意識消失の状態が得られる用量が致死量に近く、死亡事故が起こる危険性があるため、麻酔として単独使用はしないでください。

麻酔には、三種混合麻酔薬※(塩酸メドミジン+ミダゾラム+酒石酸ブトルファノール)の使用を推奨します。(※ 別紙2参照)

○ミダゾラム [向]：向精神薬試験研究施設の届出が必要

[安楽死] マウス・ラット等の小動物 (単独使用)：○

ウサギ等の中型動物以上 (単独使用)：×

ウサギ等の中型動物以上 (他剤併用)：○

実験動物すべて (麻酔下での処置により安楽死させる場合)：○

例) 灌流固定のための深麻酔として使用する場合など

ウサギ等の中型動物より大きい動物では、窒息死になるため使用しないでください。

○ネンブタール

「ペントバルビタール」と記載してください。「ネンブタール」（商品名）はすでに製造が中止されており、手持ちがある場合でも、情報公開の対象となったときに問題となる可能性があります。

○ウレタン： 催奇形性及び発癌性が認められる。

○トリブロモエタノール（アバチン）： 貯蔵液が変性すると重篤な刺激性と腹膜癒着を起こす。

ウレタン，トリブロモエタノールは麻酔薬ではありません。麻酔薬として医薬品以外を用いることは倫理的に認められません。

○ケタミン [麻]： **麻薬研究者免許の取得が必要**